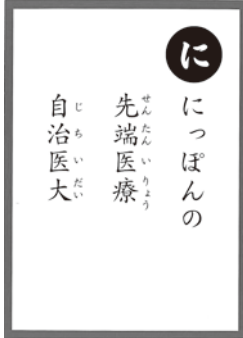


# か る た で し も つ け 再 発 見

『下野市ふるさとかるた』  
今月は「に」です

自治医科大学と附属病院は昭和47年の設置以来、日本の最先端医療の研究と地域医療の充実に貢献しています。

しかし、大学と病院が設立された目的は地域住民の福祉の増進を図るためだけではありません。医療に恵まれないへき地等での医療の確保とその向上という目的を達成するために、優秀な医師の育成を行う場の設立という面も含まれています。そのため全国から来た学生達は大学卒業後に二年間の研修を経てからそれぞれの出身地にある診療所や小規模病院でおおよそ9年間勤務することになります。



また、へき地での勤務では研修や学会に参加しづらいことから医学知識や医療技術に遅れが出てしまうという問題がありますので、二年ほど自治医大に戻って研修を行うという制度があります。そして、研修終了後に再びへき地に戻り、研修で得た知識や技術を住民に還元することで医療の向上を図っているのです。

日本のへき地では医師不足が心配されていますが、自治医大を卒業した先生達が日本の隅々までいって地域医療を支えてくれることでしょう。

2012年11月号から連載してきた『下野市ふるさとかるた』は今号で終了となります。来月からの新コーナーを楽しみにしてください。

## 男女共同参画社会

### ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) その3

「ワーク・ライフ・バランス」は「仕事と生活の調和」のことを指しています。

これは、仕事が軽視され、企業にメリットがないというわけではありません。企業がワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組むことによって、多くのメリットが得られます。

まず、時間外労働の削減は、限られた時間の中で成果を出すために、より効率的な働き方の見直しへとつながり、企業の生産性が向上します。また、労働者の健康保持増進を図ることができます。

さらに、働きやすい会社という社会的評価は優れた人材を獲得するうえで有効となります。

ワーク・ライフ・バランスは、労働者に働きやすい環境を提供することによって、企業の業績向上に結びつく重要な経営戦略の一つといえるのではないのでしょうか。

### まずは相談

光回線サービスに関する勧誘トラブルにご注意!

東日本電信電話(NTT)等が光回線サービスの卸売を開始したことにより、卸売を受けた多くの事業者が、独自のサービスを様々な料金や契約形態で消費者に提供しています。

しかし、卸売を受けた事業者の勧誘時の説明不足等、内容の十分な理解がまま契約してトラブルになってしまったなどの事例がでてきます。卸売を受けた事業者が提供する光回線は、NTTとの契約ではなく、この事業者との新たな契約であることの認識が必要です。

不安に思うことやトラブルが生じた場合には、消費者センターに相談しましょう。

下野市消費生活センター  
専用ダイヤル(44)48833  
市役所2階

相談日時 月～金曜日  
(祝日・年末年始を除く)  
午前9時～午後5時  
(正午～午後1時を除く)

※来所での相談の場合は、事前に電話でご予約ください。  
※土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ  
0228(625)2227

わかるかな?

## まちがいさがし

2枚の写真には違っているところが3つあります。見つけてみてください。(印刷の汚れは除く。)

※答えは47ページ

右から長井壘さん、広瀬市長、AZUSAさん▶



音声版CD及びテープ版)が無償でご利用できません。  
この音声版は音訳ボランティアさんのご協力をいただき作成しています。  
ご希望の方は、社会福祉協議会ボランティアセンター ☎(43)12036までご連絡ください。